

教育研究評議会（平成18年度第7回）議事要旨

1. 日 時 平成18年11月16日（木）13：30～15：23
2. 場 所 事務局棟3階 会議室
3. 出席者 安田学長（議長）
山本理事、五十嵐理事、村井理事
千原情報科学研究科長、小笠原バイオサイエンス研究科長、横
矢情報科学研究科副研究科長、布下物質創成科学研究科副研究
科長、上田保健管理センター所長

欠席者 磯貝理事、片岡物質創成科学研究科長、河野バイオサイエンス
研究科副研究科長

出席監事 岩渕監事

陪席者 茶臼教育・研究支援部長、中條企画・総務課長、田村学生課長、
奥田研究協力課長、三原学術情報課長、小林人事課長、河野会
計課長、荒井施設課長、佐波監査室専門員、脇企画・総務課課
長補佐、鈴木企画・総務課課長補佐、吉田企画・総務課企画・
法規係長、久松企画・総務課企画・法規係員

4. 議 事

（前回議事要旨の確認）

「教育研究評議会（平成18年度第6回）議事要旨（案）」について、原案
どおり承認された。

（審議事項）

（1）教員の人事制度についての大学の基本的方針について

議長から、10月10日の教員人事制度ワーキング・グループの答申を
受けた、教員の人事制度についての大学の基本的方針について説明が行
われ、審議の結果、原案どおり承認された。

方針の主な内容は、以下のとおり。

- ・教員の職種は、教授、准教授、講師、助教及び助手とする。
- ・助教は、すべて准教授に移行させる。
- ・現在の助手の助教と新「助手」への振り分けに際しては、助教の資
格及び評価項目を個々人ごとに検討する。
- ・助教と新「助手」への振り分けに際しては、評価のウェイトの付け

方及び本人の意向や職務実態の確認等について各研究科でその基準や確認方法等を定め、学長に報告するものとする。

(報告事項)

(1) 各種委員会及び各研究科教授会報告

議長から、次の委員会等の議事概要について報告が行われた。

- ・ 第5回総合企画会議（平成18年10月3日開催）
- ・ 第8回情報科学研究科教授会（平成18年11月9日開催）
- ・ 第7回バイオサイエンス研究科教授会（平成18年10月20日開催）
- ・ 第8回バイオサイエンス研究科教授会（平成18年11月8日開催）
- ・ 第7回物質創成科学研究科教授会（平成18年10月20日開催）
- ・ 第8回全学教育委員会（平成18年10月18日開催）
- ・ 第18回広報戦略会議（平成18年9月19日開催）
- ・ 第4回事務連絡会（平成18年10月13日開催）
- ・ 第5回事務連絡会（平成18年10月25日開催）

(2) 教員人事について

議長から、教員人事（教授1名及び助手1名の採用並びに助手1名の退職）について、報告が行われた。

(3) 平成18年度秋学期入学者及び平成19年度春学期入学者選抜試験の概要について

議長から、平成18年度秋学期入学者及び平成19年度春学期入学者選抜試験の概要について、11月6日現在における出願者数・受験者数・合格者数等の報告が行われた。

(4) アドミッションポリシーの改訂について

議長から、全学教育委員会において見直しが行われた各研究科のアドミッションポリシーについて報告が行われた。

なお、各研究科のアドミッションポリシーの文言について、今後さらに整理を行うこととなった。

(5) 中期目標期間における教育研究の水準の評価項目について

議長から、大学評価・学位授与機構において検討されている中期目標期間における教育研究の水準の評価項目について報告が行われた。

(6) 資金運用について

五十嵐理事から、教育、研究の財源に資するため、年度繰越が可能な寄附金について、当面は、安全で確実な国債での中長期的運用を図る旨の報告が行われた。

(7) 会計検査院実地検査について

五十嵐理事から、会計検査院の実地検査が12月11日から15日まで行われる旨の報告が行われた。

(8) 保育に関するアンケートについて

五十嵐理事から、10月6日から31日の期間に本学全構成員を対象に行った保育に関するアンケートの集計結果について説明が行われ、今後、保育所の設置を含め引き続き検討することとなった。

(その他)

(1) グローバルCOEプログラムについて

議長から、グローバルCOEプログラムの申請スケジュールについて説明が行われ、今後、各研究科で検討している事業計画案をもとに大学としての方針を検討することとなった。

以 上